



Nishinihon Country Club

西日本カントリークラブ

50 years

開場50周年記念誌



西日本カントリークラブ

開場50周年〈祝辞〉

Congratulatory Address



福岡県ゴルフ協会
手嶋 啓 会長

九州ゴルフ連盟
水田 芳夫 理事長

西日本カントリークラブは筑豊地区屈指の名門コースとしてゴルファーの信頼を得てこられました。マスターズ、全英オープンをそれぞれ3度制覇した世界の名手、ゲーリー・プレーヤー氏の設計による18ホールは優雅で戦略的で、格調さえ感じられます。2度の九州オープン開催などトップ選手によるプロトーナメントの舞台にもなりました。開場50周年の節目を迎え、今後も社会の持続的な発展への寄与を含めた新たな歴史を刻まれることを祈念いたします。

会員の皆様におかれましては、希望に満ちた新しい年を迎えられましたこととお慶び申し上げます。開場50周年という大きな節目の年に、これ迄の決勝競技会場提供を含めた九州ゴルフ連盟への多大なる貢献への御礼とともに、今後も貴クラブと連盟が力を携えつつ業界の発展を目指して邁進できればと切に願うところです。現在の賑わいが今後も姉妹コースを含め永く続きますことを祈念し新年のご挨拶とさせていただきます。

西日本CC出身・元賞金王
小田 孔明 プロ

九州オープン1994年優勝
日下部 光隆 プロ

九州オープン2019年優勝
手嶋 多一 プロ

西日本カントリークラブの開場50周年、誠にありがとうございます。まず最初に、長年にわたり西日本カントリークラブを支えて下さった会員の皆様、そして日々クラブの運営を支えて下さったスタッフの皆様、心からの感謝を申し上げます。皆様の努力と献身があり、50周年と言う節目を迎える事が出来たと思います。私は19歳で研修生として西日本カントリークラブに入り、22歳でプロテストに合格、25歳で退社するまでお世話になりました。2014年に日本ゴルフツアーの賞金王になる事が出来たのも、西日本カントリークラブでの経験があったからこそだと思います。最後になりましたが、これから次の50年に向けて、西日本カントリークラブの益々の繁栄をお祈りいたします。

この度は開場50周年おめでとう御座います。私にとって西日本カントリークラブは、プロ初優勝の思い出のゴルフコースです。私は当時から早いグリーンが得意で、夏開催の九州オープンでは、あまりグリーンコンディションに期待せず練習ラウンドに伺いました。ところがクラブハウス横の練習グリーンでパッティングをした所、猛暑にもかかわらずコンディションも良く、スピードも出て素晴らしい仕上がりました。「これなら行ける」とキャディとグータッチしたことを今でも鮮明に覚えています。現在は東京に住んでおり、中々伺う事が出来ませんが、初優勝のゴルフコースは私の心に残っています。西日本カントリークラブ様の益々のご発展を願い、お祝いの言葉とさせていただきます。

開場50周年おめでとうございます。西日本カントリークラブで行われた2019年九州オープンでの優勝は、今でも鮮明に記憶しています。1994年に西日本カントリークラブで開催された九州オープン以来、西日本カントリークラブでは25年ぶりのラウンドでしたが、猛暑の4日間を乗り切り優勝することができました。九州のプロゴルファーとして、「九州オープンで1度は勝ちたい」と思っていました。それを地元開催の大会で達成することができたことは、大変嬉しく思います。今後も地元のゴルフ場として、西日本カントリークラブが益々発展されることを祈念しております。

JLPGAツアープロ
菅 楓華 プロ

サッカー 元日本代表
大久保 嘉人 様



西日本カントリークラブ開場50周年、誠にありがとうございます。私は高校3年生の際、こちらのコースでJLPGAプロテストを受験いたしました。無事にトップ通過を果たすことができた、私にとって非常に思い出の深いゴルフ場です。当時は、高い精度が求められるティーショットや、傾斜の強いグリーンに苦戦し、「戦略性の高い難コース」という印象が強く心に残っております。この場所で得た自信を糧に、レギュラーツアーで優勝を重ね、皆様に良いご報告ができるよう一層精進して参ります。

西日本カントリークラブさん、50周年誠にありがとうございます。昨年初めてお伺いさせていただきましたが、自然といふプレーが出てしまう本当に素晴らしいゴルフ場でした。あとステキな重めちやくちや美味しいです。是非またお伺いさせてください！

50年の歩みを振り返ってどの様な思いがありますか

西日本CCCへの 想いを 振り返る

1975年、福岡県直方市に開場して50年を迎えた西日本カントリークラブで、クラシックマネジメントグループ(株)代表の谷水利行氏と2014年賞金王の小田孔明氏によるスペシャル対談が行われた。研修生時代、同コースで19歳から22歳まで腕を磨いて賞金王への礎を築いた小田プロの想いや、同クラブとザ・クラシックGC(福岡県宮若市)、佐賀クラシックGC(佐賀県多久市)を合わせ3コースを展開する谷水氏が描くこれからの展望に触れた。



谷水 まず先代が京都から縁も所縁もない九州に出てきて、地元の皆様に支えて頂き、またこの地域に住む従業員の皆様が努力をして頂いた結果、気が付けば50年の歳月が積み重なっていました。その間、小田プロをはじめプロゴルファーの皆様にも良くして頂きましたし、長いようでもあり、あっという間でもあるという感じでした。

西日本CCCの開業前、土木工事が始まった頃の当時、私はまだ小学生でした。生活の変化としては先代方が急にお土産で「ひよこ饅頭」を頻繁に持って帰るようになってきたという思い出があります。

西日本CCCが開場50周年を迎えた去年、小田プロもプロ生活25年の節目の年になりました。プロゴルファーへの道をともに歩んできた西日本CCCについてはどんな思いがありますか

小田 僕が19歳の時に研修生で入って22歳でプロになった西日本CCCには色々な思いがあります。きつい事もありましたけど楽しい事もあり、西日本CCCで研修生をしてプロになれたというのは良い思い出でもありますし、何か恩返しが出来ればと思っています。50年というのは凄く長い



谷水 西日本CCCをゲリープレイヤーが設計する事になった経緯は幹線道路から若干奥まった場所

デザインは世界トップ3の名選手、ゲリー・プレイヤー

高校は千葉県(東京学館浦安高)に行きましたけど、福岡に戻って来て西日本CCCの研修生になるのを決めた一番の理由は小田 11校の大学から誘いがありましたけど、プロになるためには研修生になるのが早いと思って、高校を卒業して1年後から地元の西日本CCCでお世話になりました。ツアーに行く寸前の金城和弘プロからもタイミング良く見てもらえてアドバイスを受けた事で、3年後にプロゴルファーになれたと思っています。



西日本カントリークラブ開場50周年『スペシャルトーク』

クラシックマネジメントグループ代表取締役

プロゴルファー

谷水利行 × 小田孔明

- 1961年 京都市に生まれる
- 1984年 神戸大学卒業後、日本航空㈱入社
- 1988年 クラシックマネジメントグループ㈱入社
- 1995年 支配人として日本女子プロゴルフ選手権をホストする
- 2004年 クラシックマネジメントグループ 代表取締役 就任
- 2017年 日本シニアオープンをホストする
- 2020年 日本女子オープンをホストする

- 1978年 福岡県田川市に生まれる
- 1993年 東京学館浦安高校 入学
- 1998年 西日本カントリークラブの研修生となる
- 2000年 プロテスト合格
- 2008年 カシオワールドオープンでツアー初優勝
- 2014年 JGTOツアー通算8勝目を挙げ賞金王獲得
- 2025年 レギュラーツアーの第一線を退く

INTERVIEWER 信川竜太

POINT 1 床下のない基礎

POINT 2 基礎と一体化した一階全面床暖房

POINT 3 高性能外壁材ALC

(有)ジーエス ユニバーサルホーム八幡店
福岡県北九州市八幡西区大平1-10-12
TEL: 093-613-7766
ユニバーサルホーム飯塚店
福岡県直方市恵田1855-1
TEL: 0949-52-6634

そのしあわせを、考え抜く。 Universal Home

数々のうれしい!と出会うサービスを。

スマホから第一交通タクシーが呼べます!

スマホで便利なQR決済!

第一交通タクシーの乗車料金のお支払いが便利に!

タクシー自動配車アプリ **モタク**

タクシーの方 Androidの方

d払い au PAY PayPay R Pay

総合生活産業 第一交通産業 公共キヤラクター「タクタク」

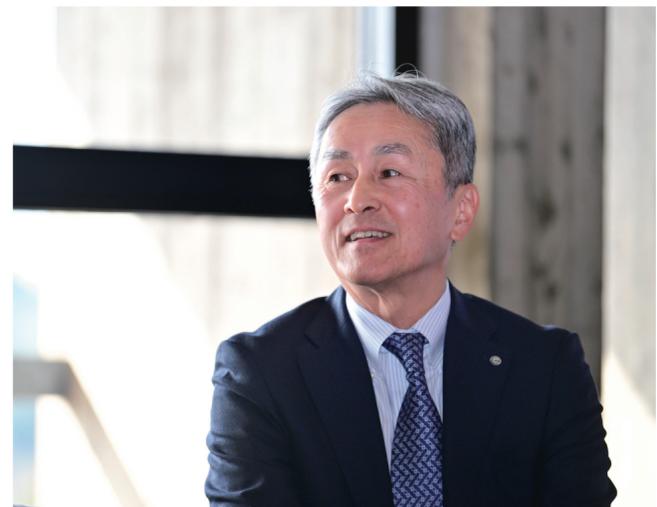
第 第一交通産業グループ DAICHI
https://www.daiichi-koutsu.co.jp/

このコースで育った孔明プロは西日本CCCの次の50年に向けてどのようなことを期待していますか

小田 系列のザ・クラシックGC、佐賀クラシックGC、西日本CCCは3コースとも違う雰囲気がある。谷水社長の話を聞いて

独特なコンクリートを活かしたクラブハウスについて

谷水 クラブハウスの建築はコンクリートの打ちっ放しを得意とする京都大学で教授をしていた増田友也さんの設計です。当時は珍しかったのもあって、打ちっ放しの仕上げを見たお客様からは「何時になっても完成するのかもしれない」と言われた時もありました。が（笑）、今となつては古いけれども古びていない、50年の風雪に良く耐えた建築デザインだと感じています。



開場から半世紀が経ちましたが次の50年に向かうチャレンジングな未来をどのように描いていますか

谷水 まずは1グリーンに改造したい。設計的には世界のデザインノウハウを投入したような世界標準のコースを目指して次の50年に繋げていきたい。

以前、鉄鋼所を営んでいた弊社はポニー菓子製造機の製造・販売からスタートし、ゴルフ場へと変わって来たという変遷自体がチャレンジングでした。創業から挑戦の連続だったというDNAを次の世代に受け継いでいきたいと思っています。

孔明プロは高校を卒業してから研修生になりました。レギュラーツアーは一旦お休みとなった今、次のシニアツアーに向けてもう一度、西日本CCCで研修をされてみるのは？

小田 もう無理ですよ（笑）。やっぱり若い時にはキャディを1日27ホールをこなした記憶がありますけど、あれはもう体力的に……。これからはゴルフ界を盛り上げるために若い子たちを引き連れてちょくちょく遊びに来たいと思っています。



大東建託 **いい部屋ネットレディス**
DAITO KENTAKU **ehayanet ladies**

2026. 7/23 THU・24 FRI・25 SAT・26 SUN 福岡県糸島市 賞金総額 ¥120,000,000

ザ・クイーンズヒルゴルフクラブ

そんなゲリー・プレーヤーが設計した西日本CCCの印象は

小田 ドッグレックやストレーターのホールもあってメリハリがある



ゴルフファアにとってチャレンジして欲しいと思う名物ホールは

谷水 ショートホールの縦距離が難しく、全体的にリスク（危険）&リワード（報酬）がハッキリしている戦略的なコースだと思います。



次なる半世紀に向けた世界標準のコースづくりへ

西日本CCCに来られるゴルフファアのみなさんには、どんな経験をして欲しいですか

谷水 ルーティングが非常に良く、ホール毎の変化がバラエティに富んでいるコースは思い出や記憶に残りやすいゴルフ場だと思います。攻略ルートによって変化

EIS
Environmental improvement suggestion

SA
maintenance house remake
sakai tosou

コース設計

Design:

ゲリー・プレーヤー

Gary Player

1935年11月1日生まれ、南アフリカ・ヨハネスブルグ出身のプロゴルファー。ジャック・ニクラウス、アーノルド・パーマーと並び世界三大プロゴルファーと評され、全てのメジャータイトルを獲得するキャリアグランドスラムを達成している。世界の一流コースを転戦する中で培ったゲリーのゴルフコース哲学は、ここ直方の地に継承され、池や起伏等土地の才能を生かしたコースレイアウトは、風化することなく年々その美しさを感じさせる。

主な作品・公式競技

- 1959年 全英オープン
- 1961年 マスターズトーナメント
- 1962年 全米プロゴルフ選手権
- 1965年 全米オープン
- 1968年 全英オープン
- 1972年 全米プロゴルフ選手権
- 1974年 マスターズトーナメント
- 1974年 全英オープン
- 1978年 マスターズトーナメント



ゲリー・プレーヤーによる設計の様子



オープニングセレモニーにて
ティーショットを放つゲリー・プレーヤー

クラブハウス設計

建築家:

増田 友也

Tomoya Masuda

1914年 兵庫県生まれ 京都帝国大学

増田友也は哲学や仏教の思想を用いた建築論で知られ、「東の丹下健三、西の増田友也」とも評された建築家。第二次世界大戦後の1950年代世界中で流行したブルータリズム建築様式の数々の建築物を手掛けました。打ち放しコンクリートやガラス等をそのまま使い装飾を極力外して素材やテクスチャそのものに重きを置いた建築です。鳴門市役所等、増田氏の作品は、公共建築百選やDOCOMOMO JAPANの日本におけるモダン・ムーブメントの建築として選定されています。



1975年オープン当時のクラブハウスと印象的なデザインの建物外観

代表的な建築物

- ・鳴門市市民会館・鳴門市役所
(モダン・ムーブメント建築)
- ・豊岡市市民会館
(コウトリ未来国際会議メイン会場)
- ・旧建部歯科医院 (登録有形文化財)
- ・京都市蹴上浄水場 本館
- ・京都大学総合体育館



Nishinohon Country Club Memorial Photos

